

輝く栗東人

書と絵の二刀流で市内を彩り続ける

■一番思い出に残る作品は？
34歳の時、日本最大の書道展「毎日書道展」で「毎日賞」という大きな賞をいただきました。公募展に向けて一心不乱に書いていた時期で、受賞を知った暑い夏の日を今でもはつきりと覚えています。喜びが爆発し、努力が凝縮されて

■書と絵に関わるきっかけは？
進学校で勉強に挫折した高校時代、好きだった漫画を描き始めました。つまずきがきっかけで、道が開けたと感じています。書は小さな頃から習っていて、大学卒業後に生涯の師と巡り合えました。書く時隣に手本は置かず、真っ白い紙と対峙する、伸るか反るか…書との向き合い方を教えてくださった人です。



松沢 麻美さん (52歳・荒張)

書と絵を愛し、「栗東観光案内所」の看板文字、道の駅アグリ郷栗東のキャラクターやPOPデザイン、市の観光イラストマップなど作品多数。荒張での書道教室ほか、講師としても活躍、2人組ユニット「びっくり行篆！」で書のパフォーマンスも展開中。



■アグリ郷栗東でのワークショップも好評です
3年ほど前から毎年秋にぼうき筆という太筆を使ったパフォーマンスを企画し、子どもたちがのびのびと字を書いています。昨年から、「四季を楽しむ『和・クショップ』」と題し、年賀状教室、うちわ作りなど、絵心がなくてもどこにでもある材料で簡単・素敵にできる作品教室を企画しています。
4月14・15日には、「作家のイッピンもの語り」を開催し、手作り作家さんのイッピンを展示・即売しま

作品に表れることを実感した瞬間でした。日々の積み重ねが今の自分をつくるという点では、人生も似ているかもしれません。

■今後の企画は？
7月にパリで書の実演をし、海外の人に漢字を書いてもらう予定です。日本文化の良さを打ち出す演出で、互いに良い刺激をもらえたらいいと思います。



「作家のイッピンもの語り」の「お披露目ショー」では、改装したアグリ郷が松沢さんのアイデアから華やかな舞台に。アグリ郷のスタッフがモデルを務めました。

軽費老人ホーム 入居者募集中

豊富な経験と実績が
あなたの幸せな老後を
しっかりサポートします

広くてゆったり暮らせる
夫婦部屋空いています！

個室も 42室あります

体験利用・ショート利用可

高齢者ケアの総合施設

60歳から入居可

社会福祉法人 八起会



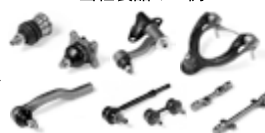
石部ケアハウス ☎0748-77-0025

http://www.hachikikai.com ※お気軽にお電話ください。

555 三恵工業株式会社

当社製品の一例

自動車用補修部品(特にサスペンション、ステアリング系部品)のメーカーとして国内を始め、世界120以上の国、地域のお客様に高い信頼を頂いております。



全日本ラリー選手権JN-677にTHREE FIVE MOTORSPORTとして、参戦しています。

〒520-3045 滋賀県栗東市高野 305
tel.077-553-0555 fax.077-553-2408
http://www.sankei-555.co.jp/jp/
旧車ブランド: 555GOLD
http://555gold.spk-cuspa.jp/
びわこ放送にてCM 放映中

広告欄

有料広告掲載のお申込み・お問合せは 広報課 ☎551-0641 ☎554-1123へ(掲載料金:本文最終ページ:1枠30,000円) 掲載内容のお問合せは、直接広告主へ。内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません。



人口(5月1日現在) 人口68,945人 男34,368人 女34,577人 前月より128人増 世帯数27,431世帯

この広報紙は、古紙配合の再生紙とベジタブルインクを使用しています。